

関東全域にひまわりいっぱいプロジェクト 遊休農地×ひまわり

- ① 対象者：市民・農家・法人などどなたでも構いません
- ② 農地面積：目標 1人あたり4~5アール(何人でも可, 人数に応じて面積増可)
- ③ 栽培等：基本的に農薬なしで有機肥料使用, 竹炭埋設(CO2削減&連作障害対策)
- ④ 作業内容：耕起, 肥料(苦土石灰)散布, 播種, 草刈, 鳥害対策, 手収穫, 種乾燥・選別
- ⑤ 目標収量：4~5アール(400~500㎡)当たりひまわり種40kg
- ⑥ 目標油量：種40kg で搾油率25%と想定して10kg(1家族1年間の使用量相当)
- ⑦ 指導等：NPO法人バイオライフにて必要により援助・作業指導をします
- ⑧ 環境保全：低温圧搾の搾油によって出る副産物の油粕を肥料・飼料に活用
揚げ物などの食用で使った廃食油は回収してバイオ燃料を製造
バイオ燃料は軽油に代えて農業機械等の稼働に使用(製造・販売元紹介)

ひまわり栽培から種収量を
増やすポイント(狙いどころ)

- ・ひまわりを咲かせているだけのところは種取りもする。
- ・耕すのみで、何も栽培していない農地を活用。

日本の遊休農地を減らしたい

遊休農地の面積：全国で10万ha程度

1位 福島県0.74万ha
2位 茨城県0.66万ha
3位 千葉県0.63万ha

全国の農作物の栽培を
目的とする土地
440万ha程度
(全国耕地面積)

出所 農林水産省平成30年遊休農地面積

遊休農地の活用で環境改善

- ・年中耕起して草が生えないようにすることがCO2抑制を妨げている。
- ・使わない畑の草を抑制するために除草剤が使われていないか？
→ 結果小さな生き物が減少していないか？

地主さんとの交渉方法

使われていない畑を使わせてもらう方法を伝授。

ひまわり栽培と
竹炭の農地埋設をセットに

荒廃する竹林整備から産出される竹炭の活用で土壌改良を！

ひまわり種(ハイオレイック品種)にはこんな特性があります

オレイン酸がオリーブオイルより多く椿油並みの80%を越え、ビタミンEはあらゆる食品の中でもダントツの100mg以上/100gとなっており、食品・化粧品用への用途で非常に有望ですよ。

NPO法人バイオライフの活動全体の目的

- 遊休農地(農家など所有農地)の有効活用
 - 環境保全, 景観保全
 - 地域循環型社会の1つのモデルとする
 - 地域の活性化, 地産地消推進
 - 地域の人材・技術・設備等の有効活用
 - 農業従事者減少への対応
 - 有機農業・食育・健康増進・環境学習の推進
 - CO2削減(脱化石燃料の推進)
- (現在の農業問題、これからの農業のあり方を見据えて、多くの方が農作業に従事していく手掛かりを模索していく)

